

平成21年度ダイオキシン類濃度監視結果について

1 調査の目的

高知県において、継続的なダイオキシン類濃度調査により、地域の汚染の状況を把握することによって、発生源の状況や高濃度地域の把握、排出抑制対策の効果の把握等を行い、ダイオキシン類対策の基礎資料とすることを目的としています。

2 調査地点

- (1) 公共用水域水質 16 地点
- (2) 公共用水域底質 17 地点
- (3) 地下水質 2 地点

3 調査結果の概要

(1) 公共用水域水質

ダイオキシン類濃度は、0.034～0.43 pg-TEQ/L(平均値0.13 pg-TEQ/L)であり、すべての調査地点で環境基準値(1 pg-TEQ/L)を下回っていました。

(2) 公共用水域底質

ダイオキシン類濃度は、0.11～26 pg-TEQ/g(平均値5.0 pg-TEQ/g)であり、すべての調査地点で環境基準値(150 pg-TEQ/g)を下回っていました。

(3) 地下水質

ダイオキシン類濃度は、0.034～0.035 pg-TEQ/L(平均値0.035 pg-TEQ/L)であり、すべての調査地点で環境基準値(1 pg-TEQ/L)を下回っていました。

表1 平成21年度結果集計表

媒体	区分	測定地点数	測定結果			単位	環境基準
			最低値	最高値	平均値		
水質	河川	14	0.034	0.43	0.14	pg-TEQ/L	1pg-TEQ/L以下
	海域	2	0.046	0.060	0.053		
	計	17	0.034	0.43	0.13		
底質	河川	15	0.11	26	4.5	pg-TEQ/g	150pg-TEQ/g以下
	海域	2	3.7	14	8.9		
	計	16	0.11	26	5.0		
地下水質	—	2	0.034	0.035	0.035	pg-TEQ/L	1pg-TEQ/L以下

pg: 1兆分の1グラム